

林業・木材産業成長産業化促進対策交付金

森林整備事業（公共事業）のほかに、森林資源の循環利用による林業の成長産業化を図る観点から、非公共事業である林業・木材産業成長産業化促進対策交付金により、森林整備等への支援を行っています。

趣旨

意欲と能力のある経営体に森林の経営・管理を集積・集約するとともに、川上から川下までの連携による生産・加工・流通コストの一体的な削減を図るべく、間伐材生産や伐採と造林の一貫作業、路網の整備・機能強化、CLT等を製造する木材加工流通施設、木質バイオマス関連施設、苗木生産施設等の整備などに対して支援します。

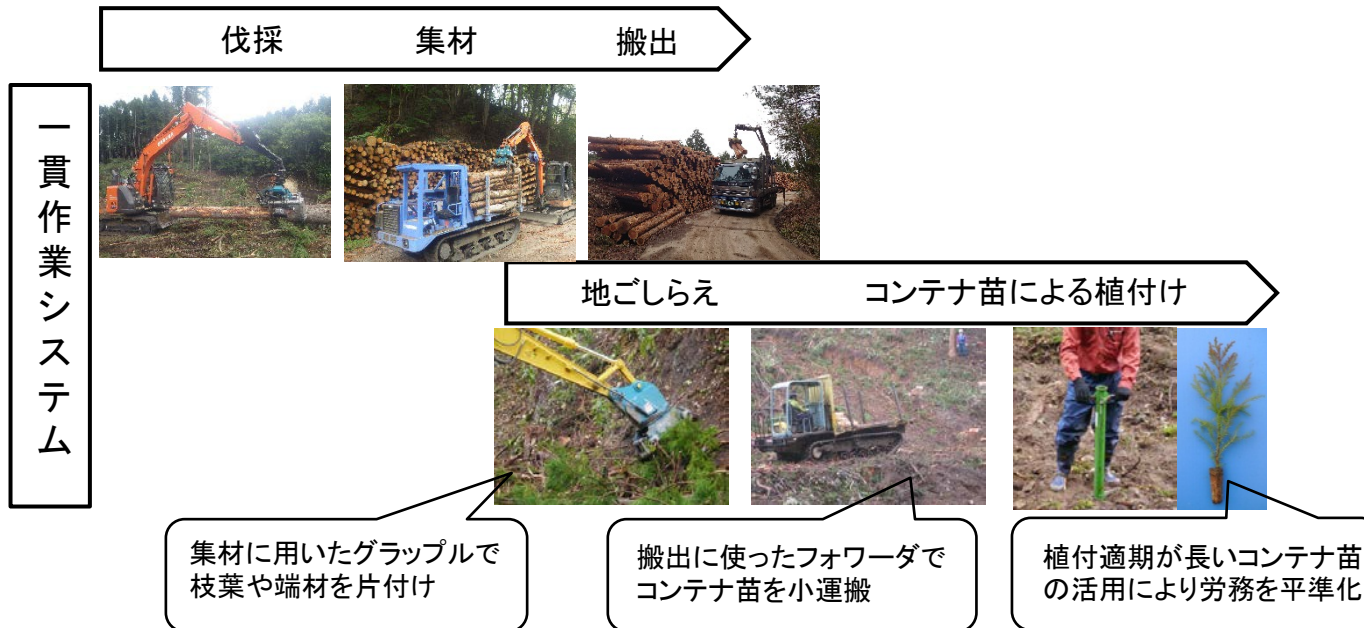
主な支援対象者

都道府県、市町村、森林整備法人等、選定経営体

支援対象となる作業

- 間伐材生産
助成額：定額
- 伐採と造林の一貫作業
助成額：定額
・ 一貫作業の上限 66.4万円/ha
- 高性能林業機械等の整備
- コンテナ苗生産基盤施設等の整備
助成額：都道府県へは定額
事業実施主体へは事業費の1/2、1/3以内等
- 路網整備・機能強化対策
助成額：林業専用道（規格相当）整備及び森林作業道整備は定額
機能強化及び林業専用道（規格相当）復旧は定率
・ 林業専用道（規格相当）整備の上限 2万5千円/m等
・ 森林作業道整備の上限 2千円/m
・ 機能強化 事業費の1/2以内
・ 林業専用道（規格相当）復旧 事業費の1/2以内

【伐採と造林の一貫作業のイメージ】



リモートセンシング技術を活用した森林整備事業の申請・検査

森林整備事業の申請・検査に、リモートセンシング等のデータを活用できるようになりました。

○ 申請

施行地での周囲測量などが不要となります。

○ 検査

(1)提出されたオルソ画像等を用いて検査を行います。

(2)施業の実施状況等が確認できる場合、現地での検査が省略されます。
(施業の実施状況等の確認ができない場合は、従来どおり現地での検査を行います)



従来測量



オルソ画像による区域確認

先進的造林技術推進事業

造林作業や、それに必要な設計・施行管理の省力化・低コスト化を図る観点から、非公共事業である先進的造林技術推進事業により、新たな造林技術やリモートセンシング技術等を導入した造林モデルの実証的な取組への支援を行っています。

趣旨

地域の実情に応じた低コスト造林モデルの普及、リモートセンシング技術を活用した効率的・省力的な設計・施行管理等の実証的な取組に対して支援します。

主な支援対象者

都道府県、市町村、森林整備法人等、森林所有者、森林組合等

支援対象となる作業

- 地域の実情に応じた実証的造林
助成額：定額
・人工造林の上限 73.1万円/ha
・下刈りの上限 10万円/ha
・一貫作業及び低コスト造林 106.7万円/ha
- リモートセンシング技術の活用実証
助成額：定額
・森林施業の上限 61.2万円/ha
・機械器具整備の上限 69.8万円/1事業主体

【実証の例】



ドローン苗木運搬



早生樹造林



ドローンによる測量